

平成 8 年度東京都美しい景観づくり活動団体賞

(平成 8 年度東京都都市景観コンテスト団体部門)

活動団体賞

美しくうるおいのある景観を形成していくうえで、民間団体、事業者等の方々の活動や事業が大きな役割を果たしています。

平成 8 年度東京都美しい景観づくり活動団体賞は、日ごろから行われている民間団体等の景観に関連する活動や事業を、景観意識の醸成、景観形成への貢献などの点から取り上げて実施するものです。

美しい景観をつくる都民会議会員の方に推薦していただき、推薦された内容について「美しい景観をつくる都民会議活動推進委員会」で審査をしました。

この結果、東京の景観形成において特に優れている活動を実施していると認められた 3 団体が選ばれ、「活動団体賞」(東京都知事賞)を受賞しました。

活動団体賞 受賞団体とその活動

やなか
谷中学校

代表： 手嶋 尚人
台東区谷中 7-17-6

台東区谷中地区は、震災・戦災を免れた情緒のある古い建物が多く残っている上、寺や坂、路地が地域独特の文化を育み、人情味のある町並みを形づくっている。この谷中の生活文化を大切にしたいと考える地元有志と、建築・都市計画等の若手専門家が協働する形で自主的にまちづくり活動を行っている。

魅力を創り上げる活動 ～すまいや公共施設への提案～



明治の町家蒲生家の再生
～谷中学校の拠点として活用～

公共施設や個人住宅の建替に際して、谷中になじむ風景が生まれるよう、地域の人と協力して提案を行う。谷中小学校前広場、谷中派出所、谷中霊園堀などの建替に地元町会、商店会と共に行政に計画提案。銭湯や蔵をギャラリーに再生する企画設計相談等の他、これからの谷中らしいまちや住まいの検討に取り組んでいる。

東京「農」の風景フォトコンテスト
実行委員会
会長 加藤 源蔵
立川市柴崎町3-5-24 JA東京中央会内

写真を通して、都市生活に潤いを与える東京の農業を、消費者にもっと身近に感じてもらい、あわせて東京の景観を考えてもらおうというコンテスト。今年で10年目を迎える。毎年3月に優秀作品の展示会を開いている（前回は恵比寿の東京都写真美術館で開催）。過去の入賞作品は、都内のお祭りやフォーラム、大学などにパネルにして展示したり、マスコミに資料提供として貸出している。

第10回東京「農」の風景フォトコンテスト作品募集中

- 応募方法 作品の裏に題名、撮影地、撮影年月日、氏名、住所、年齢、職業、電話番号を必ず記入してください。
- 送り先 〒190 立川市柴崎町3-5-24 JA東京第2ビル4F JA東京中央会 東京「農」の風景フォトコンテスト係（TEL 0425-28-1371）お問い合わせもこちらへ。
- 締め切り 平成8年12月20日（金）必着
- 発表 平成9年2月中旬。入選者に直接通知

第10回東京「農」の風景フォトコンテスト
作品募集中



港区景観を考える会

世話人 高橋 雅雄

この会は区が主催する景観セミナーの受講生の有志が中心メンバーとなって自主的な活動を行っている。

その内容は会員が順次話題提供者となって意見交換をする「港談会」。区内の景観を歩いて検証する点検会。このいずれかを月1回開催し、また3ヶ月に1回、会報「LANDSCAPE」の発行を続けている。

この運営は月1回、10名程の世話人会で協議しながら行っている。会員は、現在約60名いる。

港区景観を考える会 会報「LANDSCAPE」第5号



会報の5号ができた。港区景観を考える会もひとり立ちして1年が過ぎたので、この1年をふり返って冒頭に要約した。4頁の紙面を構成するのにいろいろ苦労がある。これからが正念場。

魅力を発見する活動 ～環境学習の実践～



谷中花暦の地図づくり～平成7年、谷中花のフェスティバルで実施

知っているようで意外と見過ごしがちな住む町の魅力を、実際にまちを歩いて五感を使って再発見するイベントを実施。町中を展覧会場に見立てた「谷中芸工展まちかどギャラリー」、住む人が谷中で大切に思う花や緑を地図にかきこむ「谷中花暦」やその地図を手がかりに町を巡る「谷中花探し」など。住民主体のまちづくりの基盤づくりを目指す。

魅力を知ってもらう活動 ～メディアで魅力を共有化～



谷中今昔路上写真展の一光景
(平成7年10月、谷中芸工展時)

家や町並みに感謝を込めて表彰する『谷中まちかどコンクール』、昔の写真をその場所に展示する『谷中今昔路上写真展』などを毎年実施。谷中道中案内冊子『谷中すこ六』を発行する等、様々な機会、メディアを通じ、発見した魅力をまちの中で共有化。住んでいるまちに誇りをもてるような活動を行っている。



谷中道中案内冊子「谷中すこ六」～谷中の魅力を歩いて知るための冊子。平成8年は画廊編を制作。

審査会のようす



審査会は毎年1月に行う。

審査委員は、英伸三氏(写真家)、進士五十八氏(東京農業大学教授)、森ミドリ氏(音楽家)、深谷和子氏(東京学芸大学教授)、大泉滉氏(俳優)、中山恒紀氏(朝日新聞東京本社写真部長)の6名で写真技術だけでなく、様々な面から審査する。



「日差しを浴びて」
撮影地：羽村市
(第9回入賞作品)



展示会風景
毎年3月に優秀作品を集め展示会を開いている。

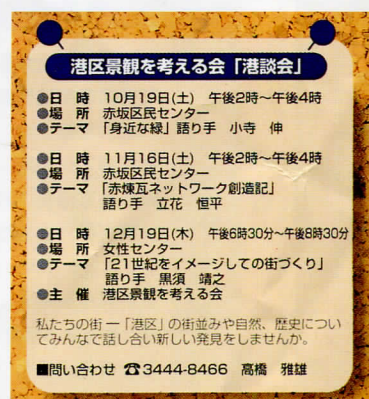
「港談会」(野外観察)



平成8年10月赤坂の野外活動

10月の「港談会」は「身近なみどり」がテーマ。赤坂を舞台に、室内の勉強会と野外観察の組み合わせだった。失われたみどり、保存されたみどり、再生されつつあるみどりと話ははずんだ。

港区政50周年記念事業に参加



港区政50周年記念事業の紹介リーフレットにも「港談会」の計画が掲載され、新しい会員の参加を期待している。

●活動団体賞実施経過

募 集 平成8年7月29日（月）～9月5日（木）

（美しい景観をつくる都民会議会員を対象に実施）

審 査 平成8年10月9日（水） 美しい景観をつくる都民会議活動推進委員会

結 果 3点（東京都知事賞）

授賞式 平成8年11月12日（火） 美しい景観をつくる都民会議

●平成8年度東京都美しい景観づくり活動団体賞実施要綱 （平成8年7月29日8生コ文振第439号） 生活文化局長決定

（目 的）

第1 この要綱は、「美しい景観をつくる都民会議」の活動方針を受けて、東京都における美しい景観づくりについての普及啓発を図ることを目的として実施する東京都美しい景観づくり活動団体賞について必要な事項を定める。

（名 称）

第2 名称は、平成8年度東京都美しい景観づくり活動団体賞（以下「活動団体賞」という。）とする。

（対 象）

第3 対象は、東京都内において美しい景観をつくる活動を行い、かつ主たる拠点を都内に有している団体とする。

（応募者）

第4 応募は、美しい景観をつくる都民会議設置要綱第3に規定する会員（以下「都民会議会員」という。）からの推薦（自薦を含む。）により実施する。

（実施内容）

第5 東京における美しくうまいのある景観形成に寄与する、次に掲げる活動を募集する。

- (1) 美しくうまいのある景観を創造、創出又は保全する活動
- (2) 美しくうまいのある景観形成に対する合意形成に寄与する活動

(3) その他、美しくうまいのある景観形成に寄与すると認められる活動

2 都民会議会員は、前項各号のいずれかに該当する活動を実施しているものを、別記様式により活動内容を記載のうえ推薦する。

（募集期間及び提出先）

第6 応募は、平成8年7月29日（月）から平成8年9月5日（木）までに、東京都生活文化局コミュニティ文化部振興計画課あてに行うものとする。

（審 査）

第7 審査は、美しい景観をつくる都民会議活動推進委員会において行う。

（入賞者の選出）

第8 選考委員会は、第5により推薦された活動の中から、東京の景観形成において特に優れていると認められた活動3点以内を選出する。

（賞の贈呈）

第9 第8により選出された活動を実施しているものに活動団体賞を贈呈する。

2 賞の贈呈は、東京都知事名で行う。

3 賞の贈呈については、別に定める「平成8年度東京都美しい景観づくり活動団体賞入賞者に対する都知事賞の贈呈要領」による。

●美しい景観をつくる都民会議活動推進委員会委員（平成8年10月）

区分	職 名	氏 名	区分	職 名	氏 名
民間団体・事業者	東京都清掃協会連合会 会長	石川 誠一	学識経験者	音環境デザイナー	庄野 泰子
	東京都農業協同組合中央会 参事	大竹 道茂		東京農業大学農学部教授	進士五十八
	(社)東京建築士会 都市環境委員長	大村 昭夫		東京大学工学部都市工学科教授	西村 幸夫
	東京商工会議所 地域経済部長	岡田 清治	区市町村	港区長	菅谷 眞一
	関東鉄道協会 技術部管掌	加藤 茂		武蔵野市長	土屋 正忠
	(社)東京屋外広告協会 副会長	久保 友雄		日の出町長	青木國太郎
	東京都レクリエーション協会 理事長	熊谷 康	都	生活文化局長	奥 典之
	東京都地域婦人団体連盟 会長	小柴 美知		都市計画局長	木宮 進
	東京都公立小学校長会 泰明小学校長	多賀 義治		環境保全局長	田中 孝
	東京百貨店協会 事務局長	田中 維武		建設局長	土屋 功一
	東京都老人クラブ連合会 会長	平澤 司			

美しい景観をつくる都民会議

美しくうまいのある景観づくりを全体的に展開するため、
「美しい景観をつくる都民会議」は活動しています。